

# HSX装置における温度揺動計測の検討

- 派遣期間  
2020年2月17日 - 3月17日
- 派遣研究者  
九州大学大学院 総合理工学府  
博士課程学生 河内裕一
- 派遣先  
アメリカ  
ウィスコンシン・マディソン大学
- 派遣目的  
HSX装置における新規手法を用いた温度揺動計測に関する議論,  
データ解析及び予備実験
- 派遣内容
  - HSX装置の実験に参加し、予備実験として計測装置及びプラズマ状態の確認を行った。ジャイロトロンが復旧してまもないため、放電が安定しなかったがトーラスプラズマと直線プラズマの異同が体験できた。
  - 現地大学の共同研究者Santosh Kumar, Konstantin Likin, David Andersonらと、本研究実験条件の選定、温度計測に向けた新規プローブ作成の検討を行った。次年度夏季に本研究のマシントイムをいただいたため、本議論を元に実験を遂行予定である。
  - 次回の渡米では、準ヘリカル対称プラズマにおける捕捉電子モード、測地線音波を対象として、温度揺動観測実験を行う予定である。